

# 議会だより

No161

令和元年  
10月31日発行



南保育園運動会

## 令和元年 9月定例会

平成30年度 決算認定 (一般会計・各特別会計)

令和元年度 補正予算可決 (一般会計・各特別会計)

■ 決算質疑	3
■ 可決された議案等	3～
■ 提出議案と議員の賛否	6
■ 一般質問	7～

### 一般質問 10人の議員が町の考えを問う

- ・大賀孝訓議員
- ・小島幸典議員
- ・佐藤富代議員
- ・小久保隆光議員
- ・瀬山 登議員
- ・原 義裕議員
- ・松村 潤議員
- ・大野貞夫議員
- ・小沢泰治議員
- ・松島茂喜議員

邑楽町議会のホームページに  
アクセスできます



議会だよりなど議会に関することや  
本会議の様子を動画による録画配信でご覧いただけます

# 9月定例会

## 平成30年度の決算を認定

**一般会計 歳入総額90億2,686万円**  
**歳出総額86億2,283万円**  
町税収入38億0,846万円（歳入総額の42.2%）



9月定例会では、平成30年度の一般会計決算をはじめ、各特別会計の決算が提出されました。各常任委員会において審査を行い、12日の本会議で各会計とも認定されました。

一般会計決算額は、歳入が前年度と比較して、3億336万円の減少となりました。町税、地方消費税交付金、繰入金等が増加した一方、国庫支出金、町債、繰越金等が減少したことにより、国庫支出金については、社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業）が3億860万円、社会資本整備総合交付金（地域住宅等整備計画事業）が2008万円減少したこと、町債は1億3670万円減少したこと、繰越金は1億527万円減少したことなどにより、前年度より1億165万円増加の38億846万円であり、歳入総額に占める構成比は、前年度より2.6%増加の42.2%となりました。なお、町税の不納欠損については、前年度より2349万円減少の1323万円の処理が行われ、収入未済額は前年度より2509万円少ない2億6775万円余りとなっています。収納率については、現年課税分で見ると平成28年度98.5%、平成29年度98.7%、平成30年度98.7%と推移しており、納の努力は認められるが、もう一段の成果の向上を図ることが必要と考えます。

歳出においては、予算額88億5158万円に対し、決算額は86億2283万円、執行率は97.4%となっており、前年度の執行率は98.2%であり、0.8%の減少となっています。今後も年度内に事業を完了できるよう一層の努力を求めます。

歳出総額は、前年度と比較して3億8088万円の減少となっています。減少の主な要因は、中央公民館建設事業の減少や町道整備国庫補助事業の減少などで、教育費が4億283万円、土木費が6158万円減少したためです。

平成30年度の一般会計の概要については、以上のとおりであり、実質単年度収支は2年ぶりの黒字となりました。町税、地方消費税交付金は増加したものの、地方交付税は減少し、衛生費、民生費は増加しています。また、少子高齢化、人口減少などの要因により、今後も扶助費を中心に財政需要が増大していくと見込まれます。引き続き、各事業運営の改善や効率化をより一層推進されるよう要望します。

(監査委員による決算審査意見書抜粋)

平成30年度決算額

会計別	歳入総額	歳出総額	差引額
一般会計	90億2,686万0,029円	86億2,282万5,359円	4億0,403万4,670円
国民健康保険特別会計	33億4,120万1,003円	31億7,231万2,179円	1億6,888万8,824円
後期高齢者医療特別会計	2億9,624万2,175円	2億9,503万9,736円	120万2,439円
介護保険特別会計	20億6,764万8,558円	20億1,343万0,704円	5,421万7,854円
下水道事業特別会計	2億7,540万0,192円	2億5,978万9,683円	1,561万0,509円
学校給食事業特別会計	2億3,375万3,408円	2億3,132万2,495円	243万0,913円

決算の  
主な質疑(要旨)

一般会計、各特別会計の決算にあたり、行政効果などについて質疑が行われました。

◎松島茂喜議員

町営住宅の修繕費が毎年約250万円かかっている。老朽化し、環境的にもあまりよくない状況で、維持管理費にかかわる何らかの改善をいく必要があるのでは。

▲町長 老朽化した町営住宅の建て替え、改修、改築など今後十分考えていく。

◎塩井早苗議員

保育園は、園長と主任保育士が正規職員で、ほとんど臨時職員とパートで賄い、ぎりぎり運営している。質の良い保育を提供できるのか。

▲町長 来年、地方公務員法が改正になる。待遇面を改善し、充実した保育園になるよう努力したい。

◎大野貞夫議員

財政調整基金の保有額を16億円と言っているが、その根拠は、  
▲町長 緊急な支出や災害が発生した時などのために、十分な基金が必要だ。



可決された議案

【条例改正等】

邑楽町公民館の設置及び管理に関する条例の改正

勤労青少年ホーム設置の根拠法令であった勤労青少年福祉法が廃止されたことに伴い、邑楽町勤労青少年ホームを高島公民館とするため条例の一部を改正しました。

邑楽町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の改正

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の一部を改正する省令が公布されたことに伴い、条例の一部を改正しました。

邑楽町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の改正

家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部を改正する省令が公布されたことに伴い、条例の一部

部を改正しました。

### ◆ 邑楽町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例の改正

幼児教育・保育に係る無償化措置の整備を目的とした子ども・子育て支援法の一部を改正する法律が公布されたことに伴い、条例の一部を改正しました。

### ◆ 邑楽町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の改正

消費税の引き上げ及び利用者負担の見直しに伴い、一般廃棄物の収集運搬手数料を改定する必要が生じたため、条例の一部を改正しました。

### ◆ 邑楽町公共下水道条例の改正

消費税の引き上げに伴う使用料の改定及び下水道法引用条文の条ずれを訂正するため、条例の一部を改正しました。

### ◆ 町道の路線認定及び廃止

鶉土地区画整理事業及び道路敷地の寄付に伴う、町道路線の認定及び廃止を行いました。

### ◆ 【報告】

#### 平成30年度健全化判断比率及び資金不足比率

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき町の財政状況が健全であることが報告されました。

### ◆ 【人事案件】

#### 人権擁護委員の推薦

令和元年12月31日で任期満了となる人権擁護委員に、青葉和明さん（篠塚）、佐野桂彰さん（藤川）、福島慶子さん（中野）を推薦することに同意しました。

#### 行政不服審査会委員の委嘱

令和元年9月30日で任期満了となる行政不服審査会委員に、高木祥充さん（太田市）、中村詔司さん（藤川）、近藤雅義さん（狸塚）を委嘱することに同意しました。

### ◆ 情報公開・個人情報保護審査会委員の委嘱

令和元年9月30日で任期満了となる情報公開・個人情報保護審査会委員に、高木祥充さん（太田市）、中村詔司さん（藤川）、近藤雅義さん（狸塚）を委嘱することに同意しました。

### ◆ 公平委員会委員の選任

令和元年9月15日で任期満了となる公平委員会委員の選任について、飯塚勝一さん（鶉）を選任することに同意しました。

### ◆ 固定資産評価審査委員会委員の選任

令和元年9月21日で任期満了となる固定資産評価審査委員会委員の選任について、中村紀雄さん（赤堀）を選任することに同意しました。

### ◆ 教育委員会委員の任命

令和元年9月30日で任期満了となる教育委員会委員

の任命について、岡田真幸さん（篠塚）を任命することに同意しました。

### ◆ 【契約の締結】

令和元年度公共下水道管渠築造1-11工区工事  
契約金額  
5281万2000円  
契約の相手方  
邑楽町大字赤堀  
株式会社 徳川組

## 請願・陳情

1件の請願が受理され、審査の結果次のとおりになりました。

### 【採択となった請願】

前橋地方裁判所太田支部での労働審判実施を求める意見書の採択に関する請願書  
請願者  
群馬県太田市  
りょうもう法律事務所  
弁護士 神谷保夫

## 意見書

議員提案の意見書1件を可決しました。意見書は関係裁判所に提出しました。

前橋地方裁判所太田支部での労働審判実施を求める意見書

提出者 大賀孝訓議員  
賛成者 瀬山 登議員  
" 小島幸典議員  
" 大野貞夫議員  
" 松島茂喜議員  
" 小久保隆光議員



令和元年度補正予算額

会計別	予算現額	補正額	予算総額
一般会計	80億8,866万円	4億0,031万円	84億8,897万円
国民健康保険特別会計	31億7,074万円	1億7,791万円	33億4,865万円
後期高齢者医療特別会計	2億9,833万円	130万円	2億9,963万円
介護保険特別会計	20億0,248万円	5,439万円	20億5,687万円
下水道事業特別会計	2億8,753万円	902万円	2億9,655万円
学校給食事業特別会計	2億3,096万円	366万円	2億3,462万円

健全化判断比率及び資金不足比率

健全化判断比率	邑楽町	早期健全化基準	財政再生基準
<b>実質赤字比率</b> 財政規模に対して、一般会計などが出した赤字額の割合	算定されず	14.63%	20.0%
<b>連結実質赤字比率</b> 財政規模に対して、町の持っている全会計が出した赤字額の割合	算定されず	19.63%	30.0%
<b>実質公債費比率</b> 財政規模に対しての借入金（地方債）の返済額（公債費）の割合	6.7%	25.0%	35.0%
<b>将来負担比率</b> 一般会計などが将来負担しなくてはならない負債額の割合	算定されず	350.0%	—

資金不足比率	邑楽町	経営健全化基準	備考
事業の規模における資金の不足額の割合	算定されず	20.0%	下水道事業特別会計での算定

※黒字の場合「算定されず」で表示され、町の財政が健全であることを示しています。



邑楽町議会議場

令和元年第3回邑楽町議会 定例会 提出議案と議員の賛否

議案等	議席番号														結果
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
	議員名														
	島田時男	佐藤富代	小久保隆光	黒田重利	大賀孝訓	瀬山登喜	松島茂喜	塩井早苗	原義裕	松村潤	神谷長平	小沢泰治	大野貞夫	小島幸典	
諮第1問号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	同意
諮第2問号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	同意
諮第3問号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	同意
同第2意号	行政不服審査会委員の委嘱につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	同意
同第3意号	行政不服審査会委員の委嘱につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	同意
同第4意号	行政不服審査会委員の委嘱につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	同意
同第5意号	情報公開・個人情報保護審査会委員の委嘱につき同意を求めることについて	○	○	○	退	○	○	○	○	○	議	○	○	○	同意
同第6意号	情報公開・個人情報保護審査会委員の委嘱につき同意を求めることについて	○	○	○	退	○	○	○	○	○	議	○	○	○	同意
同第7意号	情報公開・個人情報保護審査会委員の委嘱につき同意を求めることについて	○	○	○	退	○	○	○	○	○	議	○	○	○	同意
同第8意号	公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて	○	○	○	退	○	○	○	○	○	議	○	○	○	同意
同第9意号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	○	○	○	退	○	○	○	○	○	議	○	○	○	同意
同第10意号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	○	○	○	退	○	○	○	○	○	議	○	○	○	同意
議第24案号	邑楽町公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	退	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可決
議第25案号	邑楽町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	退	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可決
議第26案号	邑楽町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	退	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可決
議第27案号	邑楽町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	退	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可決
議第28案号	邑楽町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可決
議第29案号	邑楽町公共下水道条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可決
議第30案号	工事請負契約の締結について（令和元年度公共下水道管渠築造1-1工区工事）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可決
議第31案号	町道の路線認定及び廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可決
議第32案号	令和元年度邑楽町一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可決
議第33案号	令和元年度邑楽町国民健康保険特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可決
議第34案号	令和元年度邑楽町後期高齢者医療特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可決
議第35案号	令和元年度邑楽町介護保険特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可決
議第36案号	令和元年度邑楽町下水道事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可決
議第37案号	令和元年度邑楽町学校給食事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可決
認第1定号	平成30年度邑楽町一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	×	○	認定
認第2定号	平成30年度邑楽町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	×	○	認定
認第3定号	平成30年度邑楽町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	認定
認第4定号	平成30年度邑楽町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	×	○	認定
認第5定号	平成30年度邑楽町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	認定
認第6定号	平成30年度邑楽町学校給食事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	認定
請第1願号	前橋地方裁判所太田支部での労働審判実施を求める意見書の採択に関する請願書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	採択
発第3議号	前橋地方裁判所太田支部での労働審判実施を求める意見書提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可決

※ ○…賛成 ×…反対 退…退席  
議…議長（議事進行を行う議長は採決に加わりません。賛否同数の場合のみ議長裁決として賛否を表明します）

# 一般質問



大賀 孝訓  
議員

## 町づくりと自主財源の確保について

**問** 邑楽町のキャッチフレーズは「やさしさと活気の調和した夢あふれるまち」であるが、行政サイドから見た優しさをどんな風に定義しているか。

**答** 町長 この優しさというの、町民の皆さまの心温まるぬくもりのある状況と考えている。

**問** 私は役場や出先機関、商工会等各種団体の窓口業務の優しい対応の町づくりではないかと考える。では、活気をどう捉えるか。

**答** 町長 活気を持った生き生きとした元気が必要と考える。

**問** 農業・工業生産や商業の旺盛な経済活動による納税と着目するべきだ。夢あふれるまちの夢をどう考えるか。

**答** 町長 夢は理想であり、人それぞれ全て違う部分もある。一つ一つ施策に反映され、実践をすることが理想に近づく。

**問** 夢は自己実現をどう図れるか、人間の持っている認証欲求、人から認められたいと言う欲求を満たしてやるのが第一ではないか。夢の実現のためには、財政的な裏付けが取れるのか。これをどう考えるか。

**答** 町長 税金は増加傾向にある。投資的な部分

についても状況が変わり、改善されていると言える。

**問** 本年度が良かったから、来年度も自主財源が良くなるとは限らない。町は独自の財源を確保する事が大事である。工業団地の造成、国道354号沿いの開発の進捗状況はどうか。

**答** 町長 産業団地の進捗は残念ながら進んでいない。

**問** スピード感を持って開発を進めないとどうにもならない。国道354号沿いの開発については、太田市、大泉町ですすでに埋まっている。田んぼの稲穂がゆれているのは邑楽町部分だけである。

**答** 町長 国道354号沿いの開発は大変厳しい。県の方でBRTという高速バスの運行を計画しており、バス停を役場周辺や国道354号沿線ではないかと考えている。開発と言うことでは、民間の事業者の力を借りて進めたい。

**問** BRTのバス停の開発という事だが、青写真はあるのか。

**答** 企画課長 BRTの停留所は、事業主体が群馬県である。現段階では、停留所の設置は群馬県で計画している。

**問** 現状では、BRTのバス停をつくると言うことだけであり、ほかは全くの白紙と考えてよいのか。

**答** 町長 県との協議が整ったのち示したい。具体的なお案はあるが、まだ示せない。県との協議が整った段階で

示したい。

※BRT（群馬県版）東毛広域幹線道路のJR高崎駅～東武鉄道館林駅間に導入されるバス高速輸送システム



稲穂がゆれる国道354号



小島 幸典  
議員

町のふるさと納税について

**問** 過去5年間のふるさと納税の寄附金額は、どのような額か。

**答** 総務課長 ふるさと納税は、ふるさとや応援したい自治体に寄附する制度で、手続きをすると所得税や住民税の還付、控除が受けられる。町では、指定寄附の一つとして、決算報告をしている。過去5年間の実績は、平成26年度39万6400円、平成27年度67万5000円、平成28年度74万7400円、平成29年度87万円、平成30年度156万円である。

**問** 年々増えているが、町民がいかにか人のために何ができるか考えた場合、ふるさと納税の使い道の割合をどう考えているか。

り振り額は、どのような方法をとっているのか。

**答** 総務課長 ふるさと納税寄附は、町を応援したい方からいただいている。ホームページなどでは、ふるさと納税をまちづくりに活用していますということ。町に寄附を募っている。町に寄附をされた金額は、一度ふるさと振興基金に積み、それを予算の中で広域バス事業やおうら祭りなど、ふるさとづくり事業に充てている。

**問** ふるさと納税の全額を一つの予算の中に入れて使っているとの説明だが、この使っている金額をどのような方法で納税者に報告しているのか。その結果を

知るともつと力が出せて、他の人にも頑張ろうとコミユニケーションがとれ、その輪が広がると思う。

**答** 総務課長 ふるさと納税の募集、それに対する返礼品の発送事務を平成30年度より外部委託している。返礼品は、町の特産物詰め合わせ種類だったがメニューを広げ、多くの方に興味を持ってもらえるよう対応した。事務を委託した関係もあり、ふるさと納税をした方への結果報告は行っていない。ただ、ふるさと納税を受けるときに寄附者の方に希望をとり、町の広報紙を一年間送り、町の状況などを知らせている。

**問** お金の使い道の報告は。

**答** 総務課長 自治体の活動の中身を知りたい希望者には、広報紙を送付しているが、報告はしていない。

**問** ふるさと納税された金額は、こういうふうに使っている。ふるさと納税を

通して、心の温かさ豊かさが育つと思う。中学生の給食費の2分の1に使うことを提案する。

議員提案として考える

**答** 町長 指定をして寄附をした方には、指定どおりに使っている。一般の寄附者は指定を行っていないので、議員提案と考える。



町ホームページでふるさと納税寄附を募る



# 一般質問



佐藤 富代  
議員

## 地域包括ケアシステムの推進について

**問** 介護が必要になっても、認知症になっても、安心してこの邑楽町に住み続けることができる新たな支援体制は、町民にとってありがたいものである。その進捗状況については。

**答** 健康福祉課長 医療、介護、生活支援、介護予防、住まい、これら5つの要素を連携しながら高齢者の暮らしを地域で支えていくしくみである。介護予防や日々の暮らしの支援は、住民やボランティアの互助による活動が高齢者を支える。生活支援体制整備事業（協議体）は、平成30年度に第2層協議体を各小学校区に設置し、地域ごとの課題解決や資源開発を協議している。

**問** 町民が新たなしくみを理解するために、どのような広報活動をしているのか。特に邑助けネットワークの活動報告は、その発信力が大きいと考える。

**答** 健康福祉課長 町全体の第1層から第2層へ徐々に裾野は広がっている。邑助けネットワークの活動を広報紙の特集記事で取り上げてはいるが、リアルタイムで町民に知ってもらえる事は大切である。さまざまな方法を考えたい。

**問** 地域包括ケアシステム の推進には、地域包括支援センターの役割が大きいと考える。医療と介護の新たなしくみを町民に伝えるという大切な役割を担っ

ている。専門職と町民のパイプ役として、その役割や機能の強化、組織拡大について今後の計画は。

**答** 健康福祉課長 邑楽町全体を一つの圏域と捉え、業務を行っている。高齢者人口から考えると、さらなる専門職の確保や基幹的なセンター設置など実情に合った体制づくりを考える必要がある。

**問** 邑助けネットワークの活動が始まった。しかし、これで解決できる問題ばかりではない。例えば、通院や買い物移送手段、屋敷や家屋、田畑の管理など、大きな問題である。担当課の枠を超えた連携や新たなしくみが必要である。

今後の対応については。

### 町として大きな課題

**答** 町長 地域包括ケアシステムの構築は、町として大きな課題として捉えなければならぬ。1つの課題だけでは到底解決には及ばない。邑楽町役場の15の課が一つになり、横のつながりをもたなければ解決には繋がらない。日常生活の支援となると、本当にいろいろな問題が出てくる。だからこそ、隣土との連携を強くすることに、一つ一つの課題が解決すると考える。しかし、解決できない場合は、協議体と話し合い、行政の支援という形で取り組まなければならない。医療、介護、福祉などその人々の日常を支える支援は、生活全般にわたると思う。安心して生活ができる町づくりに努力していきたい。



健康寿命を延ばすラジオ体操

※生活支援体制整備事業（協議体）  
 Ⅱ 邑楽町での愛称は「邑助けネットワーク」  
 第一層とは町全体  
 第二層とは各小学校区



小久保 隆光  
議員

## 空き家の現状と 対策について

### 空き家対策を進める

**答** 安全安心課長 今後の空き家対策については、

現在、<sup>\*</sup>空き家等対策の推進に関する特別措置法を補完する邑楽町空き家等の適正管理に関する条例やその施行規則の制定に向けて作業を進めている。条例制定後には、空き家等対策計画を策定し、空き家対策を進めていくことになる。所有者への意向調査や空き家の適正な管理に向けても取り組んでいきたいと考えている。

**\*メモ\***

- Aランク 小規模な補修で利活用できる状態
- Bランク 外観的な補修で利活用が可能
- Cランク 中規模な補修後に利活用が可能
- Dランク 利活用が難しく解体や除却が必要
- Eランク 目視できないなど調査ができない

(空き家等現地調査個別シートより)

**問** 環境美化の一環として、空き家対策の現状について町の考えは。また、空き家の現状についていろいろと取り上げられているが、町の空き家は現在何件あるのか。

**答** 安全安心課長 高齢化や人口減少を背景に全国的に空き家が増え続け、社会問題となっている。総務省が5年に一度実施している住宅・土地統計調査では、平成30年の住宅数概数集計結果によると、全国の総住宅数6242万戸と平成25年と比べて179万戸、約3%の増加となっている。また、空き家数が846万戸と平成25年と比べて26万戸、約3・2%の増加となっている。住宅総数に占め

る空き家の割合も13・6%と0・1ポイント上昇し、過去最高となっている。そこで邑楽町の空き家の状況であるが、町では平成31年1月から2月にかけて各行政区役員の協力をいただきながら、都市建設課と安全安心課の職員が合同で空き家などの調査を行った。建物と敷地内に関する評価項目、判定基準を設け、管理状況の良好なほうからAからEまでの5段階にランクづけし、敷地の外から目視による調査結果をまとめた。

平成31年3月末現在においては、住宅総数が9550戸、空き家は335戸。そのうちAランクが141件、Bランクが72件、Cランクが79件、Dランクが34

件、Eランクが9件となり、空き家率は3・5%である。群馬県全体の空き家率については、16・6%となっている。

**問** 近隣の住民から何とかしてほしいと苦情がある。近隣住民からの苦情の対応は、町ではどのようになっているのか。

**答** 安全安心課長 近隣住民から寄せられる苦情が絶えないというところであるが、苦情については、庁内手続きを経た上で、所有者に対して通知を発送し、適正な管理をするようお願いをしている。

**問** 今後、町はどんな対策を進めていくのか。

**その他の一般質問**  
・邑楽町の一人暮らしの現状と対策について

※空き家等対策の推進に関する特別措置法  
適正な管理が行われていない空き家等の活用



雑木が生い茂る空き家

# 一般質問



瀬山 登  
議員

## 都市計画鶉土地地区画整理 事業について

**問** 鶉土地地区画整理事業の概要について聞きたい。

**答** 都市建設課長 平成10年から施行面積39・7ヘクタール、総事業費70億円、施行期間8年間で事業を開始した。その後、平成12年度に1回目の計画変更、平成14年度に2回目の変更、平成16年度に3回目の変更、平成20年度に4回目の変更、平成27年度に5回目の変更をしている。現在は、総事業費68億5100万円、施行期間32年間、令和12年度までの計画である。

9%、面積17・53ヘクタール、整備率44・2%である。

**問** 延長した施行期間32年間に對し、約3分の2の期間が終わっているが、事業進捗は半分以下である。なぜこの事業が進まないのか。原因は、どこにあるのか。

**答** 町長 計画当初は、経済状況が右肩上がりであり、推移してきたと思う。その後、経済状態が悪く税収が低くなった。財源不足が大きな原因と思う。

部分の地権者は了解していない。予定期間内に進めるため、職員の配置、財源確保はできているのか。残された12年間で執行するには、年間の必要額を把握しているか。

### 国の社会資本整備総合交付金を充てている

**答** 町長 なかなか進まないことは、承知している。早いうちに仮換地指定は、必要だと思う。用地交渉は、時間のかかるケースもあるので人手が無ければ前へ進まない。また、国の社会資本整備総合交付金を充てて、現状に合わせて進めているので理解してほしい。

**問** 土地地区画整理の済んだ土地は、最近、土地利用が活発になり、随分新築住宅が増えていると思う。統計を取り状況把握しているか。

**答** 都市建設課長 直近の3年間町全体では、約300戸の新築戸数に対し鶉地区は34戸。町全体の行政区で平均すると8%に対し、鶉地区は10%強であり新築が進んでいる。

**問** 整備が終われば他町村から転入者が多くなるメリットがあるので事業進捗に積極的な取り組みを。また、市街化区域内と調整区域の課税について区画整理前と整備後では、どう変わるのか。

**答** 税務課長 新たに路線価設定された評価額は、3%から5%の範囲で変わる。

**問** 仮換地が済んでいない宅地は、住民に不利益

がないか。  
**答** 町長 整理後、相続税と贈与税は評価額が変わるが、固定資産税はそれほど変わらない。



区画整理事業が済んだ住宅地

**問** この事業の進捗状況を聞きたい。

**答** 都市建設課長 平成30年度末で支出総額25億2900万円、整備率36・

**問** 区画整理地区内に住んでいる住民の思いは、毎日の生活に影響が及ぶのか。中央線の早期完成を望んでいる。その道路に該当する



原 義裕  
議員

将来へ続く  
町づくりについて

**問** 邑楽町第六次総合計画も中間点にきた。進捗状況を聞きたい。

**答** 企画課長 今年4年目に入っている。数値化をして、進行管理していく。

**問** 近年、自主財源でもある町税が増収されて良い傾向だが、今後人口減少が進み、消費税の引き上げ、物価の値上げ、景気の伸び悩みが考えられる。町民サービスの向上を目指すには、自主財源の確保が必要だ。対策を聞きたい。

**答** 総務課長 今後、年齢構成などが変わると、当然影響はある。景気の動向に左右されない財政状況を作っていく。

**問** 3月末の財政調整基金は、21億円と聞いている。1〜2年のうちに、取り崩しはあるのか。

**答** 総務課長 今年度、2億5千万円取り崩した。また、太田市外三町広域清掃組合で新炉建設があり、約3億円の負担が来年度に予想される。

**問** 財政調整基金は、一般会計にも繰り入れは可能か。

**答** 総務課長 財政調整基金は、特定の事業だけでなく、必要な事業にも充てられる。

**問** 住宅リフォーム補助金事業は、昨年度780万円の決算で、今年度は、

1000万円を予算計上した。高齢化や生活収入が減っている状況を見ると見直す必要がある。

**答** 商工振興課長 町民の消費促進と、町内建築関連業者の事業振興を図る目的で、住環境の改善と地域経済の活性化で経済効果が生まれている。

**問** 財政調整基金を住宅リフォーム補助金事業に充てられないか。

**答** 町長 予算全般、平均的に使っている。住宅の老朽化が必要に迫られたことを前提に考える。

**問** 多目的広場東の神社北を駐車場用地として議会の承認を受け、購入をし

たが。  
**答** 都市建設課長 平成27年度に公有地財産の公園及び駐車場として取得した。イベント時の駐車場や公共工事を使う碎石・良質土などの仮置き場などで使っている。

**問** いろいろな用途があるようだが、無駄遣いにならないよう計画的に具体的に使って欲しい。活気ある夢あふれる町を将来像にした町づくりについて聞きたい。

豊かな夢ある町づくりに取り組む

**答** 町長 町づくりの責任者は町長と認識している。町職員と力を合わせ、そして、町民の協力で、優しさと活気のある豊かな夢ある町づくりに取り組む。

**問** 町民は、より活性化した、住んでよかったと望むのが真意だ。

**答** 町長 常日ごろ、もっと良い町、町民の皆さんが安心して安全に生活できる町を目指して取り組んでいく。



邑楽町第六次総合計画

# 一般質問



松村 潤  
議員

## 図書館運営について

**問** 邑楽町立図書館がオープンし25年目を迎えた。貸し出し率が20年間群馬県第1位を継続し、1日平均約530人の人々が来館されている。図書館は文化のバロメータでもある。現在の蔵書数は約13万冊、視聴覚資料を入れると17万6000点になるとのことだが、これで町民のニーズや要望に十分応えられる状況か。

**答** 生涯学習課長 図書資料は常に最新のものに更新し続けたいといけない。しかし、限られた予算の中で、同じ本を何冊も買うことはできない。利用者からは、人気がある本を予約しても手元に届くまで時間がかかるという声を聞くこと

がある。図書資料を購入する際にバランスのとれた選書を行うのは、職員の悩みでもある。

**問** 図書購入費が下がっている傾向にあるが、町民一人あたりの図書購入費はいくらか。

**答** 生涯学習課長 平成30年度は図書が766万1000円、視聴覚資料が170万4000円、合わせて936万5000円。町民一人あたりの図書購入費は259円である。

**問** その金額は、県内ではどの位の順位か。

**答** 生涯学習課長 県内の全市町村の平均は、一人あたり349円で、比較

すると15%ほど低くなっている。本町は、図書館を設置している23町村中、第7位である。

**問** 町のニーズはもとより、町立図書館としての社会的ニーズに比べていくつに、今後さらに思い切った予算の確保が必要ではないか。

**答** 生涯学習課長 図書館は知識を広め、見識を高めて人格の完成を目指していく上で、極めて重要な教育的効果の高い施設である。常に最新の情報を更新し続けることが絶対条件であり、それなしに建物と古い資料があるだけでは所期の目的を果たすことはできない。図書館資料の購入費

は、平成20年度を境に、1500万円の予算から900万円に削減されたまま今日に至る。

**問** 資料の購入費増額の予算要求が上がってきた場合、町長はどのように対応するのか。

**答** 町長 図書館の重要性は十分理解している。限られた財源をバランスよく配分する必要がある、今後最大限努力する。

**問** 最大限努力するでは分からない。具体的にどのくらい確保するのか。

**答** 町長 現時点ではどれくらいということはない。蔵書予算が下がったことを考えれば増額ということも考慮していかなければならないと思っている。

**問** 教育への投資は、長期的な視点に立って手当てをしていくことが不可欠

である。今よりも高く、1000万円位確保していただきたいと思うが。

1000万円に近づける

**答** 町長 教育への投資は大切。1000万円という数字に近づけるよう努力したい。

その他の一般質問  
・投票率向上の対策について



開館25年を迎えた町立図書館



大野 貞夫  
議員

## 給食費の軽減及び 無料化について

**問** 県内の給食費、無料化及び補助対策の実施状況を聞きたい。

**答** 学校教育課長 今年度において、全額助成は11団体、条件つきで全額助成が8団体、一部助成が6団体である。

**問** 県内35自治体の内、25自治体が、無料化を含めた何らかの補助対策をとっている。次に学校給食について、教育長の見解を聞きたい。

**答** 教育長 安心安全で、おいしい給食を提供することを目標に、地産地消食に関する指導の充実を図るため、食育を推進している。また、学校給食法は、給食の普及と食育の推進を

図ることを目的に制定されており、給食を提供するのは、町の任務と認識している。

**問** 学校給食は、ただ単に食事の提供ではなくて、食育としての教材に位置づけられている。憲法第26条に照らせば、無償にすべきではないか。

**答** 町長 学校給食法第11条第2項では、経費以外の給食に要する費用は、児童または生徒の保護者の負担ということが決められている。食材料費については、保護者に負担してもらうことも必要。

**問** 邑楽町第六次総合計画の基本理念として、人

口減少対策を町の最大の課題として位置づけ、新たな移住・定住施策及び子育て支援策を大きな柱としてうたっている。県内35自治体中25自治体、7割が何らかの施策を進めている。板倉町できて、邑楽町にできないわけはない。

**答** 町長 一つには、その市町の財政状況によって行われてきたと考えている。現時点での考え方は、食育を学ぶということについては、多少の保護者の負担は必要ではないかと思っている。残された10の市町村の中に、入るわけですが、今後の状況を見た中で、十分検討していく必要がある。

**問** 町長の答弁は、相変わらずである。2年前にも同じような答弁をしている。ただ単に少子化対策だけではなく、貧困対策も考えなければならぬ。統計的には、子どもの6人に1人、ひとり親に限っていえば、2人に1人は該当する子どもがいる。

**答** 町長 貧困家庭児童生徒の皆さんには、軽減をしている。まず、給食費補助の前に、幼児教育・保育を無償化していくということが、現在の状況である。

**問** その程度のことは、邑楽町に限らず、どこでもやっている。では、町の財政状況は、どうなるのか。3億円前後の積み立てを行っている。現在の財政調整基金は、21億円ある。その内の一部を取り崩してでもできないのか。

**答** 町長 どうしても全体的な町のバランスのことを考えた、行政執行をしていく上に立って、判断させていただく。

**問** 町のバランスを考えた上に立って判断



学校給食センターと給食

# 一般質問



小沢 泰治  
議員

## 事なかれ主義の邑楽町、 町長は何をすべきか

**問** まず、事なかれ主義とはどういうことか広辞苑で調べてみた。「事なかれ」とは（これという事件がないように、の意）、ひたすら無事ばかりを望む消極的なやり方とある。金子町長が初めて当選されてから、まもなく3期12年が経つ。最初から「私はトップセールス」をして、邑楽町を元気にするとの公約であったと思うが、トップセールスをするとはどんなことか、また、どんなセールスをしたのか。

**答** 町長 町の状況を理解してもらい、今まで以上に元気のある町にするということを行ってきた。具体的には、農産物などの市場価格低迷のとき、ぜひ多

く買い取ってほしいとか、工業生産の部分でいえば、ぜひ町のためになる事業展開のお願いをした。国、県に対しては、それぞれの事業に対し、国の決められた予算の範囲内でいろいろ財源的なお願いをしてきた。

**問** 課長補佐でもできるような国、県の制度的なことではなく、町長でなければできない仕事は、どのようなことをやってきたか。

**答** 町長 係、課長でも十分できるものもあると思う。その上に立って責任者、長としてのセールスをやってくることは大事であり、続けることも必要だと私自身は思っている。

**問** 一期目からでも遅い、まずはトップセールスである。日本経済が縮小経済になっている中で、もうチャンス逃してしまっている。例えば富士通、凸版、ダノン・・・、既存の企業でさえここは安心、ここで拡大しようと考えている。邑楽町は、それが一つもない。それはトップセールスをしなかつた結果として、町長の責任は重いと思うが。

**答** 町長 邑楽町は都市計画、農業振興の中で大変きつい縛りがある。今、私も県なりにお願いをしていて、大変厳しい状況であるが、これから成就できるように努力したい。

**問** 12年前金子町長が邑楽町のトップになった。日本中で何につけても一番いいところである。国、県企業に対しても町長のトップセールスがなされなかった。「やさしさと活気の調和した夢あふれるまち“おうら”」とある。太田市以東で4年前は下から3番目、現在は2番目、板倉町の次に人口減少が高い町である。行政のトップとして頑張ってもらいたい。

**町の人口減少率  
マイナス5・82%を改善**

**答** 町長 邑楽町の人口減少率は、マイナス5・82%。減率が高いと言われても現実少なくなっているの

で、これは受け入れなければならぬ。皆さんと一緒に町づくりのために取り組んでいく。

**問** 大企業を誘致するのが、邑楽町長のトップセールスである。

**答** 町長 質問にお応えできるように努力していきたい。



全国から約300台集結した邑楽町商工会青年部主催 OURA 86 meets 2019



松島 茂喜  
議員

## 金子町政12年間の 舵取りについて

**問** 町長選挙まで3か月を切っている。出馬する気持ちはあるのか。

**答** 町長 現時点では、はっきり言えないが、健康にも恵まれ、仕事に取り組む気力も十分にある。

この場でしっかりと表すことが皆さんに対しての礼儀であると思うが。

**答** 町長 後援会の皆さんの意見を聞いて、早い時期に決めたい。

**問** 選択肢は2つしかない。現職の町長が現時点で決めかねているのは、町民に対して失礼だと思う。はっきりさせてほしい。

**答** 町長 早い時期に皆さんに示すことが必要である。と私自身も承知している。

**問** 今後も舵取りをされるという予定で質問してよいのか。

**答** 町長 通告通り質問いただいで結構である。

**問** 意欲満々ということであるので、12年間で果たした公約は何か。

**答** 町長 ツップセールス、安全安心なまちづくり、農工商の問題は果たせたとと思う。実施できていないのは、100%情報公開、産業団地、

道の駅、町民農園である。

**問** 自己評価では、達成率は何%か。

**答** 町長 皆さんで評価していただくことが正しいのではないかと。

**問** それでは、町長自らPDCAサイクルができていないということになる。自己評価は最低限のことであるが、いかがか。

**答** 町長 合格点とは言えないが、60点から70点くらいである。

**問** 特に産業団地の造成は全く進んでいない。県や他の市町村との連携や外交を図っていく上で必要不可欠なものは何か。

**答** 町長 産業団地に限って言えば、農業振興地域が非常に多く、その網を外すのが大変な状況である。外交努力が左右することは承知している。

**問** 私に、産業団地に空きがあるかとの問い合わせが、ここ1年間で3件あった。進出したいという企業と一緒に国や県に掛け合っていたらいいと思う。これ以上のアピールはないと思う。いかがか。

**答** 町長 私にも2件あった。努力したい。

**問** 苦言になるが、町長は議会に相談するのが下手であり、ほぼ単独で決めてしまうことが多い。制限付きであるが、幼児児童の給食費を無料にする際も議会の意見を一度も聞いたことがなかった。今後は改善されるのか。

**答** 町長 十分気をつけた。い。

**問** 町政報告会は開催しているのか。

**答** 町長 最近では実施していない。十分気をつけたい。

※PDCAサイクル

Plan 計画  
Do 実行  
Check 評価  
Action 改善  
の4つの英単語の頭文字で、仕事を改善・効率化することができると言われている。





## 休憩室 The Lounge

### 二階からの眺め



うちほり のりこ  
内堀 法子  
(谷中蛭沼・11区)

結婚を機に、邑楽町に住み43年が経ちました。当初は、住宅3軒と工場だけの見晴らしの良い環境でした。現在は家も増え、会社もでき、すっかり変わってしまいました。が……。

我が家の二階から見えていた、私の好きな光景をご紹介します。

早苗田の一直線の通学路傘差す子らの声響きくる

雨多き休耕田は池のごと鴨群れなして羽を休める

帰省する声を限りの孫の声  
「ばあちゃんバイバイ」青田渡り来

麦青む乾きし畑に音立てて  
雨降り注げば生氣戻りぬ

茎伸びた風吹き渡る麦畑  
海原のごと揺れて波打つ

邑楽町麦秋の田の減りゆきて  
のどかさも減る減反の畑

### 議会のうごき

#### 8月

- 8日 議会運営委員会
- 18日 おうら祭り
- 20日 邑楽郡町村議会議長会臨時会
- 21日 戦没者追悼式  
議会運営委員会
- 22日 総務教育常任委員会、産業福祉常任委員会
- 23日 全員協議会
- 27日 群馬県後期高齢者医療広域連合議会

#### 9月

- 1日 邑楽町総合防災訓練
- 3日～13日  
第3回定例会  
(本会議、議会運営委員会  
各常任委員会、全員協議会  
議会広報委員会)
- 25日 大泉町外二町環境衛生施設組合議会

#### 10月

- 1日 議会広報委員会編集会議
- 3日 太田市外三町広域清掃組合議会
- 6日 町民体育祭
- 11日 議会広報委員会校正会議
- 16日 群馬東部水道企業団議会
- 23日 群馬県町村議会議長会理事会
- 25日 群馬県町村議会議長会議員研修会
- 29日～31日  
議会運営委員会・常任委員会合同視察調査

## 議会に対する町民アンケート調査にご協力ありがとうございました

10月1日～15日に実施いたしました「議会に対する町民アンケート調査」では、多くの町民の皆さまに回答にご協力をいただきありがとうございました。

邑楽町議会では、議会の公平性、透明性を保ち、町民と共に歩む「町民に分かりやすい開かれた議会」を目指しております。

今回のアンケートによって頂戴いたしました皆さまの議会に対する意識を把握し、今後の議会活動に生かしてまいります。

## 議会を傍聴しましょう

### 次回の定例会は

**12月23日から26日を  
予定しています**

(開会原則、午前10時 一般質問は24日、25日を予定)

住所・名前・年齢を受付票に書くだけでどなたでも傍聴できます。役場庁舎1階ロビーのテレビにおいても、本会議の様態を中継していますので、お気軽にご覧ください。

議会の会議録(議事等の経過をそのまま記録したもの)は、図書館、中央公民館、長柄公民館、ヤングプラザに置いてあります。また、ホームページでも会議録全文や本会議の様子を動画配信により見ることができまますので、ご覧ください。

URL <https://www.town.ora.gunma.jp/li/070/index.html>

詳しくは、議会事務局まで 47-5000 (直通)

# 群馬県 吾妻郡 東吾妻町



松井 卓明  
(明野・34区)

**私** のふるさととは、県内

北西部に位置する東吾妻町です。町を見下ろすように、荒々しくそそり立った岩肌が印象的な岩櫃山は、この町のシンボルであり、心のよりどころにもなっています。また、大河ドラマ「真田丸」のオープニングや真田氏の居城としても紹介されたことはご承知のとおりです。

周辺に目を移すと、風光明媚な吾妻渓谷はダム建設に伴う水没を免れ、来年竣工の八ッ場ダムと共に観光名所として期待されています。ダム周辺には、道の駅や、下を覗くと目も眩むほど高い橋梁が建設され、バングージャンプやダムの見学ツアーが人気を博しています。

このダム建設に伴い、幹線道路やトンネルなどが整備されつつあることで、草津や万座、また、周辺の温泉を目当てに出かけたり、北軽井沢方面へ足を伸ばしたりする際に、見通しの利かない、あの渓谷沿いを移動する気遣いから解放され

たことで、より一層、誘客や物流などが期待されるところです。

このように、東吾妻町は様変わりしつつありますが、自然の豊かさや美しさ、人々の温かさは今も健在です。ので、紅葉が見頃の季節には、ご家族でお出かけしてみたいかがでしょうか。



おうらまち  
議会だより

No.161



岩櫃山



(島田記)

## 編集後記

今年も厳しかった夏が去り、だいぶ過ごしやすく、秋の訪れを感じるようになりました。しかしながら、日本列島では、大型台風などにより、場所によっては大変な被害を受けました。ご苦勞された方も多く、被災された皆さまに心からお見舞い申し上げます。

議会では、9月3日～13日までの11日間、第3回定例会が開催されました。多くの議案が慎重審議され、全て可決されました。また、平成30年度の決算も審議され、承認されました。一般質問では、10人の議員が町政について熱心な議論を行いました。

新人広報委員ではありませんが、分かりやすい議会だよりの発行に努めてまいりますので、今後ともご指導、ご鞭撻をどうぞよろしくお願いいたします。